

海洋教育のデザイン

1. 学校名 気仙沼市立面瀬小学校
2. 活動テーマ名 「海と生きる気仙沼」の魅力を学び発信する海洋教育カリキュラムの作成
3. 実践の概要・ねらい

学年の発達段階に合わせ、総合的な学習の時間、教科・領域において単元のねらいと関連付けながら「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」活動を設定する。学習活動を通して「海と生きる」ことの本質を捉えさせ、海や地域のために活動する実践力を育てる。地域の海に愛着をもち、その特性やよさに気付かせるために多様な体験的活動を取り入れる。また、活動を支える外部支援体制も構築する。それらの授業（活動）計画を立案、実践し、指導方法を評価する。

4. 実践計画

- (1) 単元開発 別添資料① 海洋教育マトリックス参照

- 1 学年 「いろいろなふね」（国語科）

船について興味をもったことを体験的に調べる。

- 1 学年 「おもせのしき～うみであそぼう」（生活科・図画工作科）

海の自然（磯）と親しむ活動を行い、海と進んで関わろうとする態度を養う。

- 2 学年 「ぼうけん！はっけん！からくわのうみ」（学校行事・生活科）

海の自然（砂浜）と親しみ、養殖筏を見学するなどし、気付いたことを表現する。

- 3 学年 「未来に残そう面瀬の生き物たち」（総合的な学習の時間、理科）

川と海にすむ生き物の違いを調べ、生き物と周辺の環境の関係について知る。海藻肥料を活用し栽培活動に取り組み里山循環を学ぶ。

- 4 学年 「山川里海の命を育む面瀬川」（総合的な学習の時間）

海と川や山との関係について調べ、循環の仕組みを理解する。米や塩づくり体験を行い、自然の恵みを大切にしたい思いをもつ。

- 5 学年 「海と生きる気仙沼」（社会科及び総合的な学習の時間） 別添資料②

地域の産業について調べ、海とのかかわり方を考える。海や水産業に関心をもち、課題を探究する。

- 6 学年 「海の歴史を調べよう」（社会科）

海の歴史や文化に関心をもち、地域環境と関連づけて調べる。

- (2) 地域連携と学校間ネットワークの構築

水産関連施設や行政と連携する。連携する関連施設の数を増やし連携体制を整えるとともに、学びの質的な向上を図る。学校間ネットワークを構築し、協働的に活動する。

- (3) 海洋教育に関連する図書の充実

児童の「知りたい」「調べたい」という思いに対応するために海洋関連図書の拡充を図る。

- (4) 職員研修の充実

研究会への参加及び先進地域視察を行う。

5. 今年度の実践

(1) 計画からの追加・変更点

全校児童対象にライフセービング学習を実施した。

6学年において新規に「魅せっペプロジェクト」(総合的な学習の時間の活動)を実施。海や水産業を含め、地域の魅力と問題点を探究し、発信する活動を行った。

学習経験をもとに、児童や保護者が活動への思いを表したかるたを作成した。

(2) 実践の成果

- 磯や砂浜において「海に親しむ」活動を行うことで、児童は、自然を身近なものとして捉え、自然環境と人との関わりについて、自身の課題として考えることができた。(1学年「うみであそぼう」、2学年「ぼうけん!はっけん!からくわのうみ」、5学年「海と生きる気仙沼～磯観察をしよう」)
- 気仙沼湾に実際に足を運んで海の様子を見たり、海を生かした仕事(水産業や観光業・町づくり等)に充実する人の話を聞いたりする活動を通して「海を知る」ことで、児童は、地域の現状を共感的に捉えることができた。(5学年「海と生きる気仙沼」、6学年「魅せっペプロジェクト」)
- 海藻を肥料として活用したり、気仙沼産の水産物を調理したりする活動を通して、児童は「海を生かす」ことの有用性について考えることができた。(3学年「未来に残そう面瀬の生き物たち」、4学年「山川里海の命を育む面瀬川～気仙沼おにぎりをつくろう」、5学年「海と生きる気仙沼」)
保護者や地域と一体となった食育の取組が認められ、「みやぎ食育大賞」を受賞した。別添資料③
- 地域の魅力を調査し、発信する活動を通して、児童は、「海と生きる」ことの意義を考え、よりよい地域の創造に向けて意欲をもつことができた。(5学年「海と生きる気仙沼」、6学年「魅せっペプロジェクト」)
- 外部機関と協力・連携することで、教員の海に対する知識や経験の不足を補い、学習を充実させることができた。

(3) 次年度への課題

今後も海洋教育を通して「海と生きる」気仙沼のよさと課題を知り、地域づくりに参画・貢献できる児童を育成する。SDGsを念頭に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、カリキュラムを充実させ、学習の成果や児童の変容を広く発信する。地域人材、地元企業、大学、各専門機関との連携の継続と強化に努める。

6. 主な連携機関及び内容

東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター 丹羽淑博先生

5学年 総合的な学習の時間「海と生きる気仙沼」

東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター 加藤大貴先生

6学年 社会科「かつお漁の歴史」

宮城教育大学 (溝田浩二先生)

3 学年 総合的な学習の時間「未来に残そう面瀬の生き物たち～水辺の生き物に関する講話」
NPO 森は海の恋人 畠山信氏

2 学年「ぼうけん！はっけん！からくわの海」 実地調査，講師
マルセンわかめグループ

5 学年「海と生きる気仙沼～わかめ養殖を体験しよう」 講師
宮城県北部鰹鮪組合

5 学年「海と生きる気仙沼～親子海鮮料理教室」 講師
宮城県気仙沼水産試験場

5 学年「海と生きる気仙沼～磯観察」 講師
気仙沼市（観光課・水産課）

6 学年「魅せっぺプロジェクト」 実地調査協力

7. 添付資料

- ① 海洋教育マトリックス
- ② 学習指導案 「海と生きる気仙沼」（5 学年総合的な学習の時間）
- ③ みやぎ食育大賞受賞の取組



【実践のねらい】

○ 海や海に関連する仕事をする人とのかかわりに関心を持ち、生き物探索や遊び、調査活動を通して触れ合うことで、海よさに気づき、親しみをもつとともに、自然とかかわることの楽しさを味わうことができるようにする。

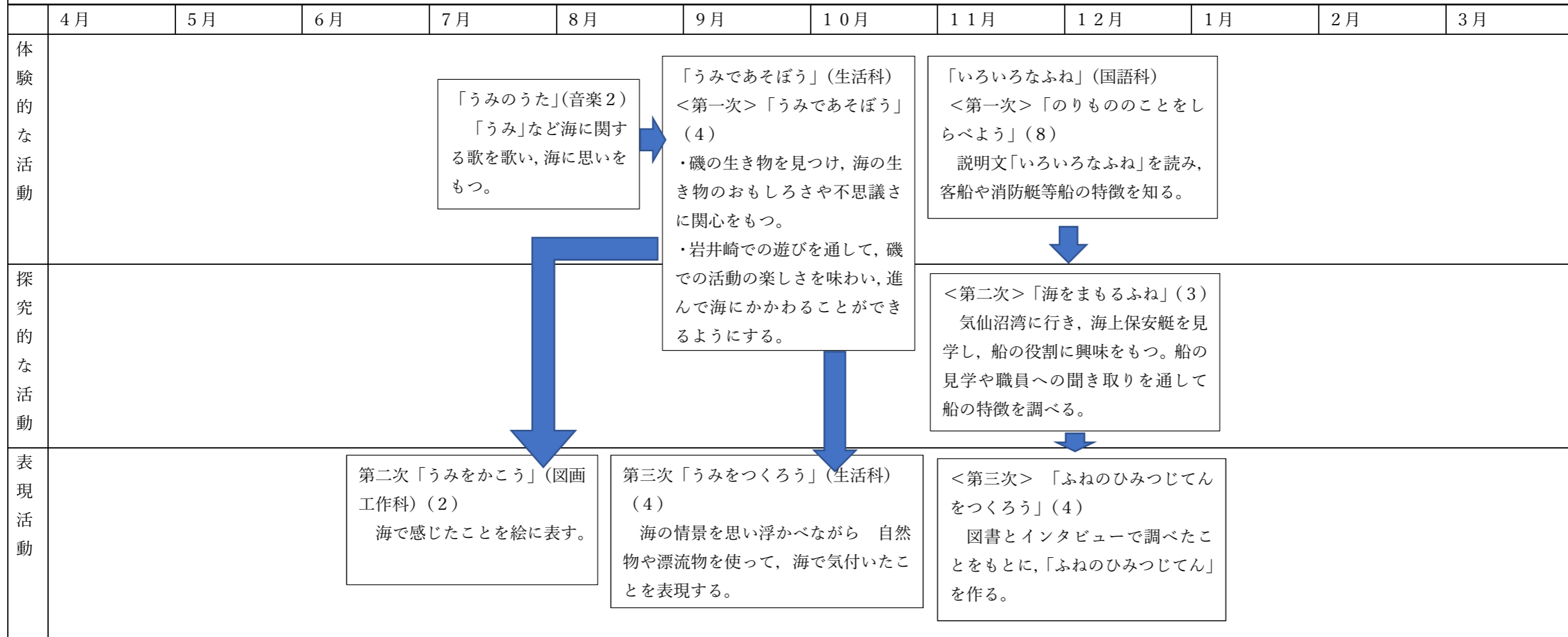
○時数 9月～11月 27時間

○関連 生活科、図画工作科、音楽科

○身に付けたい力

- 【人を大切にする力】 ・海の楽しさがわかり、海にかかわる人と進んで交流する。
- 【自分の考えをもつ力】 ・自分と身近な海とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付く。
- 【自分を表現する力】 ・気付いたことや楽しかったことについて、言葉、絵、動作、劇化などの方法により表現し、気づきを深める。
- 【チャレンジする力】 ・海を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりする。
・自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって生活する。

【主な連携先と内容】
気仙沼海上保安署；海上保安庁の仕事、多様な船の紹介



【実践のねらい】

○ 身近な人々、地域の海や公共物などのかかわりに関心を持ち、触れ合うことで、海のよさに気付き、親しみを持つとともに、自然とかかわることの楽しさを味わうことができるようにする。



○時数 9月～11月 8時間

○関連 生活科, 図画工作科, 学校行事(遠足)

○身に付けたい力

【人を大切にする力】・身近な人々や海, 地域にかかわることの楽しさがわかり, 進んで交流する。

【自分の考えをもつ力】・自分と身近な海, 地域とのかかわりに関心を持ち, 自然のすばらしさに気付く。

【自分を表現する力】・気付いたことや楽しかったことについて, 言葉, 絵, 動作, 劇化などの方法により表現し, 気付きを深める。

【チャレンジする力】・海を大切にしたり, 自分たちの遊びや生活を工夫したりする。

・自分のよさや可能性に気付き, 意欲や自信をもって生活する。

【主な連携先と内容】

NPO 森は海の恋人:海や養殖場の案内, 海の生物に関する講話

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div data-bbox="1261 892 1558 1438" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「ぼうけん！はっけん！からくわの海」 第一次「からくわのうみをたんけんしよう」(学校行事4) ・唐桑舞根の海を訪れ, 養殖いかだの様子を見たり, 鳴り砂に親しんだりする。 ・漁師の話を聞き, 森と海のつながりについて知る。 </div>											
探究的な活動												
表現活動												



【実践のねらい】

○ 生き物調査と観察を通して、面瀬には多様な生物が生息していることに気づき、山・川・里・海と生命のかかわりについて考えたり、海藻を利用した栽培活動を通して、海の役割に気付いたりする。

○時数 4月～2月 70時間

○関連 総合的な学習の時間

○身に付けたい力

【人を大切にする力】 ・ふれあい農園運営委員等、地域の人と進んでかかわる。
 ・友達と協力して、面瀬の生き物や海藻に関する探究活動を行う。

【自分の考えをもつ力】 ・面瀬やふれあい農園での体験活動等を通して、地域の自然環境のよさや生物の多様性に目を向け、課題を設定する。
 ・友達と協力し、生きもの観察、調査を行う。
 ・解決に向けて友達と協力し合って情報収集や整理・分析し、探究したことをレポートなどにまとめる。
 ・生物多様性や動植物の命や成長、それらを育む面瀬の自然について自分の考えをもつ

【自分を表現する力】 ・探究したことや自分の考えを地図などに表現して、下学年や保護者に向けて発表し、考えを深める

【チャレンジする力】 ・将来に向かって、面瀬川や海、面瀬の自然環境や生き物を守りたいという思いをもち、環境を守るために自分たちができることを考え、実践しようとする。
 ・自分のよさや可能性に気づき、意欲や自信をもって生活する。

【主な連携先と内容】

宮城教育大学 溝田浩二先生：生き物に関する講話、探究活動への助言
 気仙沼鮭漁業生産組合：サケに関する学習

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>「未来に残そう面瀬の生き物たち」面瀬の生き物調査隊①（春から夏）（10） 面瀬の環境や生物に触れ、観察する。 ・春のふれあい農園畑の生き物探し（ふれあい農園） ・春の水田の生き物探し（ふれあい農園横 佐藤氏水田） ・初夏の面瀬川の生き物探し（板金前）</p> </div> <div style="width: 30%; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>面瀬の生き物調査隊②（5） 秋の水田の生き物探し（ふれあい農園横 佐藤氏水田）</p> </div> <div style="width: 30%; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <p>面瀬の生き物調査隊③（5） 秋の面瀬川に行き、川やサケの様子を観察する。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>「海藻肥料で野菜をつくろう」（10） 面瀬ふれあい農園で海藻肥料を活用し、野菜を作り、親子で調理し味わう。</p> </div>											
探究的な活動	<p>博士といっしょに生き物についてもっと調べよう（20） 面瀬で観察した生き物についてさらに調べる I 面瀬には、どんな生き物がいるのだろうか II 生き物の特徴を学ぼう（宮城教育大学 溝田浩二先生）（鮭漁業生産組合） III 面瀬の生き物をもっとくわしく調べよう</p>											
表現活動	<p>面瀬生き物図鑑を作ろう（20） ・面瀬でみつけた生き物や特徴をカードとマップ、模造紙にまとめる。 ・調べたこと、考えたことを発表する。</p>											



【実践のねらい】

○ 面瀬川流域や河口域の土地の使われ方等，面瀬川と生活のかかわりを探究し，水辺環境を守るためにできることを考え発信する。

○ 時数 4月～3月 70時間 うち海洋に関する学習「気仙沼おにぎりをつくろう」12時間

○ 関連 総合的な学習の時間

○ 身に付けたい力

【人を大切にする力】・地域の農家や漁師と進んでかかわり，米づくりや地元の水産物を使ったおにぎりづくりを体験する。

・友達と協力して，探究活動を行う。

【自分の考えをもつ力】・面瀬川流域調査や米づくり体験等を通して「山・川・里・海」のつながりに目を向け，課題を設定する。

・友達と協力し，米づくりを体験したり，面瀬川源流調査を行ったりしながら，自分の課題を解決する。

・解決に向けて友達と協力し合って情報収集や整理・分析し，探究したことをレポートなどにまとめる。

・海山里海につながりに気づき，水辺環境を守るためにできることを考える。

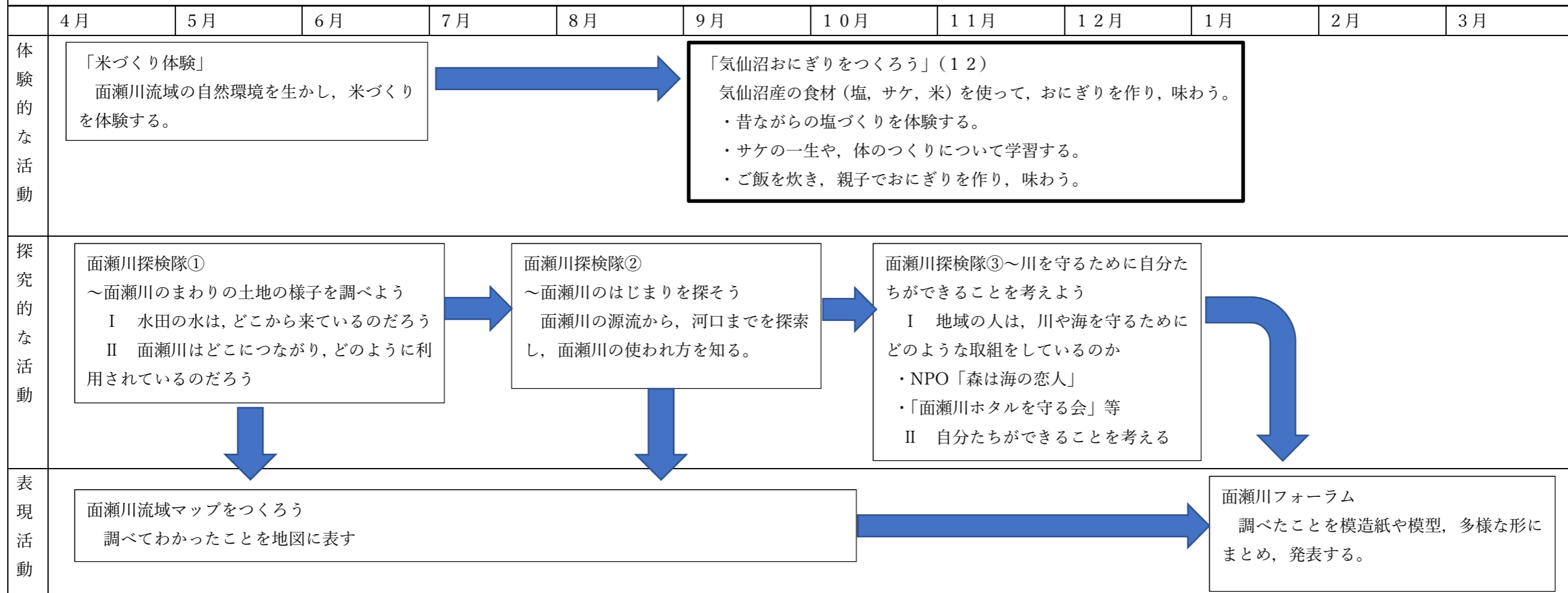
【自分を表現する力】・探究したことや自分の考えを新聞などに表現して，下学年や保護者，地域に向けて発表し，考えを深める。

【チャレンジする力】・将来に向かって，面瀬川や海等の自然環境を守りたいという思いをもち，そのために自分たちができることを考え，実践しようとする。

・自分のよさや可能性に気づき，意欲や自信をもって生活する。

【主な連携先と内容】

地域の農家，面瀬公民館：米づくりへの助言，水田の貸与





【実践のねらい】

○ 海や水産業から課題を見出し、探究する。海洋環境について考えたことや漁業復興への思いを発信する。

○時数 4月～2月 80時間

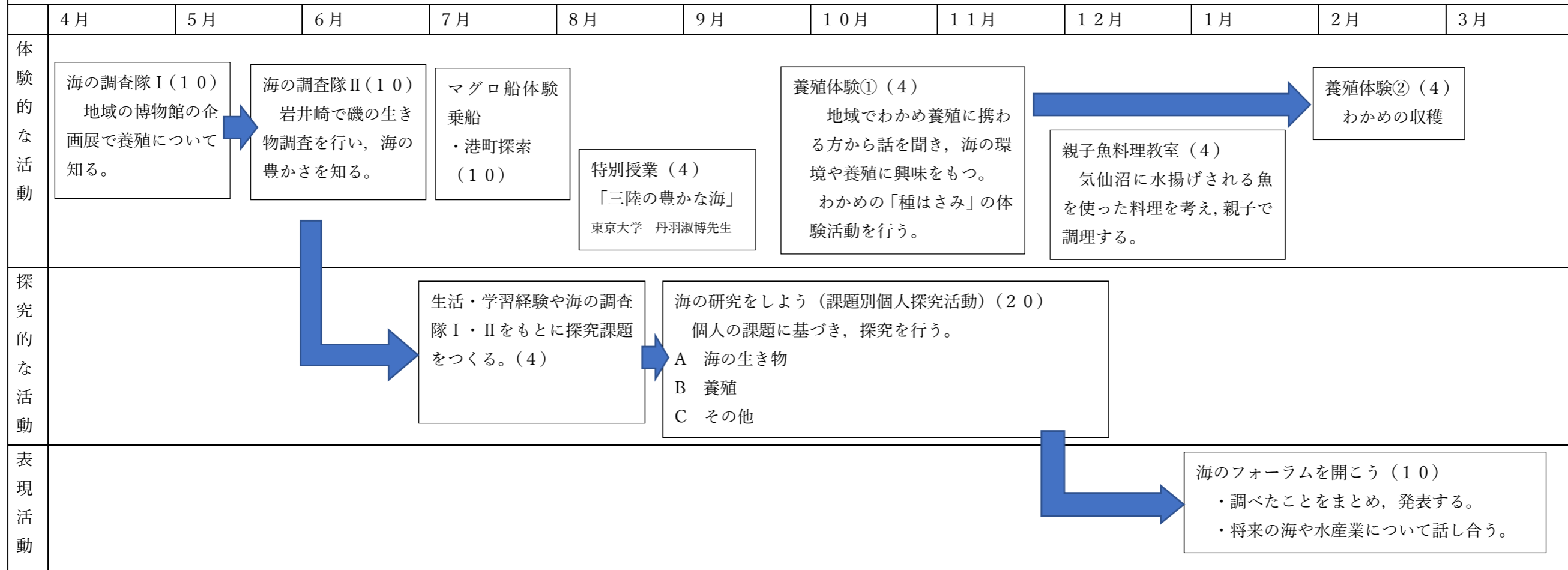
○関連 総合的な学習の時間、国語科、社会科、理科、家庭科

○身に付けたい力

- 【人を大切にする力】
 - ・気仙沼の海、水産業に関心を持ち、地域の一員として海とのかかわりを考える。
 - ・面瀬地区や気仙沼に住む人の暮らしを見つめ、地域の一員として地域の在り方を考える。
- 【自分の考えをもつ力】
 - ・気仙沼の海や水産業に目を向け、海や水産業に関する課題を設定する。
 - ・課題や探究方法を見直し、自分の調べたいことを多様な方法で調べる。
 - ・海や水産資源の大切さに気付き、海を守るにはどうしたらよいか自分の考えをもつ。
- 【自分を表現する力】
 - ・解決に向けて情報収集や整理・分析し、探究したことを研究レポートなどにまとめる。
 - ・探究したことや自分の考えをポスター、研究レポートなどに表現して、下学年や保護者、地域に向けて発表し考えを深める。
 - ・海洋フォーラムで、自分の考えを述べる。
- 【チャレンジする力】
 - ・環境や地域のために自分たちができることを考え、実践しようとする。
 - ・自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもって生活する。

【主な連携先と内容】

宮城県気仙沼水産試験場：磯観察講師
 宮城県北部鯉鮪組合：漁業の探究活動への助言、マグロ船乗船体験、海鮮料理教室講師
 横田屋本店：海苔養殖に関する探究活動
 マルセンワカメグループ：ワカメ養殖体験



海洋教育のストーリーマップ 6年生「魅せっぺプロジェクト」

気仙沼市立面瀬小学校



【実践のねらい】

○ 地域の特長や問題点等を体験的・探究的に調べ、まとめたことを広く発信する。活動をもとに将来への展望をもつ。

○時数 4月～3月 74時間

○関連 総合的な学習の時間, 社会科

○身に付けたい力

【人を大切にする力】 ・面瀬地区や気仙沼にすむ人の暮らしを見つめ、地域の一員として地域の在り方を考える。

【自分の考えをもつ力】 ・生活・学習経験をもとに、魅力や問題点等地域に関する探究課題を設定する。
 ・解決に向けて情報収集や整理・分析し、探究したことをレポートなどにまとめる。

【自分を表現する力】 ・課題や探究方法を見直し、自分の調べたいことを多様な方法で調べる。
 ・コンピュータソフトを用いて、スライドを作成する。

【チャレンジする力】 ・地域の特色を調べ、未来の気仙沼について自分の考えをもつ。
 ・探究したことや自分の考えをポスター、研究レポートなどに表現して、下学年や保護者、地域に向けて発表し、考えを深める。

【主な連携先と内容】

気仙沼市(水産課, 観光課等):
 地域に関する探究活動
 男山本店, 齊吉商店: 食に関する探究活動

